

アドバイザー派遣事業 成果事例(要約版)

R7.5.1作成

年度	企業名	テーマ	成果・取組内容	支援テーマ		
令和4年	株式会社坂製作所	生産規模10倍に向けた「モノづくり基盤の強化」	金属加工の当社が開発した超小型・静音コンプレッサーは、環境問題に大きく貢献できるが、大量生産は未経験であった。大量数を早期に市場へ届けるため、ものづくりの基本である生産計画と実績の対比、作業改善、レイアウト変更に向けた取組み。	コスト削減	業務プロセスの最適化	
	株式会社大東技研	社員が成果を出せる自律型組織づくり	手間を要する煩雑な問題と、種々のことが複雑に絡み合った問題が多々あった。問題と課題が混在し、なかなか解決に至らない状況にある中、問題認識、課題抽出・整理、課題解決のプロセスを自律型組織で実行できるマインドセット変革と改善スキル向上への取組み。	業務プロセスの最適化		
	株式会社俵屋吉富	未来の伝統を創るためのデジタルシフト	創業1755年、長い伝統とともに培われたアナログな社風は優れたシステムを入れても変わらなかった。DXを目指し進みつつも浸透しない現場の本当の課題追求と、それを自走的に改善するためのスキルの取得に向けた取組み。	業務プロセスの最適化		
令和5年	株式会社八代目儀兵衛	世界中にこはんの美味しさを広げるためのSCM改革	社内のSCM改善プロジェクトを進めていたが、この分野の知識不足で専門家の指導が必要と感じていた。ここにアドバイザーが、在庫管理業務を整理し管理業務フローと入出庫フローを設計し、ハンディー端末設置ポイントも決めた。一方、プロジェクトマネジメントについても指導・支援した。	サプライチェーンの改革	業務プロセスの最適化	
	株式会社もり	より正確な生産計画による食品ロスの削減	社員のITアレルギー解消からスタートする必要があり、衛生管理記録を紙からクラウド管理に変えた。顧客の要求リードタイムより製造リードタイムが長い事が食品ロスを生み生産計画作りを難しくし属人化させていた。そこで売上データと返品データをリアルタイムで共有化し、次の段階の基盤を作った。	データ活用による生産管理		
	株式会社松栄堂	社内に散在するナレッジをアドバイザーと深掘りし、課題を解決する	社内応募により抽出した3つの課題解決に取組んだ。①営業日報(効率的な重要情報の共有、検索・閲覧の容易化)、②経理業務(電子帳簿保存法への対応、請求書の電子化)、③商品開発業務(業務プロセスの可視化、業務システムの要件を定義)	業務プロセスの最適化		
令和6年	株式会社イーエル・オカモト	あんどんシステム導入で管理者と現場の即時対応の実現	管理者が作業者からの呼び出しに遅れ、重要なインシデントへの対応が遅れる課題があった。あんどんシステムによる生産状況のリアルタイム可視化を実現し、即時対応を可能にすると共に不要な呼び出し回数の削減ができた。	デジタル技術の活用	データ活用による生産管理	
	株式会社イワタ	営業から工場への指示の整流化と指示書の自動作成	店舗業務(注文書作成、システム登録、お客様カルテ記入、受注入力原票記入)を整理し、出荷指図業務を標準化することで、システムの統一ができた。また、出荷指図からカンバン作成をエクスポートしたデータを用いることで転記入力が必要になった。	コスト削減	デジタル技術の活用	業務プロセスの最適化
	株式会社中村藤吉本店	生産能力改善と生産計画の見える化でモノづくり力を強化	近年の需要の伸びに対して、供給責任を果たせていない。生産体制の強化は当社の最重要経営課題であり、その中のロスの無いモノづくりによる能力向上と複雑な生産計画の簡素化と共に属人化から標準化を実現した。	コスト削減	デジタル技術の活用	業務プロセスの最適化
	株式会社波多野製作所	腰痛対策！ 積み直し作業の軽減	重量物の積替え作業が発生していたが、製品の制約条件を反映した最適化計算プログラム（バーコード読み取り→自動計算→可視化表示→積載結果出力）を実装した。結果、誰でもができるようになり今後の自動化につなげる。	人手不足の解消	デジタル技術の活用	
	株式会社半兵衛麩	物流業務の効率化・整流化	①業務全体像のヒヤリング・整理を行なう中で各業務毎の具体的な課題を抽出、課題解決への道程を作成した。②市場クレーム分析により 発生要因の確認と対策が確認できた。③物流ピッキング作業の改善により 物流業務のミス低減が見込まれる。	業務プロセスの最適化		
	二九精密機械工業株式会社	製造原価計算の効率化とワークフローの効率化	固定資産台帳などのデータをExcelで自動計算できるようにした。同時に配布基準の見直しも行った。結果、データ取得工数とチャージ計算工数を30%削減できた。また、ドキュメントをサイボウズからSharepointに移行した。SharepointをPortalサイトとして、最新版の共有と周知を一元化した。	コスト削減	デジタル技術の活用	業務プロセスの最適化
	矢野株式会社	『考え方』で人と環境を改善。現状を整理し少人数を活かす	手探りの取り組みだった5S活動を基礎からの指導で従業員の意識を高め、共に活動し定着する取り組みへと成長した。従来システムの改良と紙の記録のデータ化により『見える化』→『業務改善』へ繋がる仕組みができた。	データ活用による生産管理		